

令和8年第2回青森市議会定例会提出

請 願 文 書 表

請願一覧表

受理 番号	受 理 年月日	件 名	請 願 者 の 住 所 ・ 氏 名	紹 介 議 員	付 託 委 員 会
4	R8.5.28	地籍調査事業の進捗加速を求める請願	青森市大字入内字駒田47番地3 中川 富子 外2名	大矢 保	都市建設 (常)
5	R8.5.28	入内地区を地籍調査事業地の優先地とすることを求める請願	青森市大字入内字駒田47番地3 中川 富子 外2名	大矢 保	都市建設 (常)
6	R8.5.29	フリースクール等利用料補助制度の創設を求める請願	青森県青森市桜川4丁目3-10 片野 澄哉	工藤 健 小豆畑 緑 山本 武朝 赤平 勇人 小熊 ひと美 里村 誠悦 山田 千里	文教経済 (常)
8	R8.6.1	物価高騰やホルムズ海峡封鎖等の影響による中小業者の緊急事態の打開を求める請願(その1)	青森市長島三丁目21番8号 青森民主商工会 会長 田附 衛	万徳 なお子	文教経済 (常)
9	R8.6.1	物価高騰やホルムズ海峡封鎖等の影響による中小業者の緊急事態の打開を求める請願(その2)	青森市長島三丁目21番8号 青森民主商工会 会長 田附 衛	万徳 なお子	総務企画 (常)
10	R8.6.1	18歳以上の軽度・中等度難聴者への補聴器購入費助成制度創設を求める請願	青森市篠田2丁目13番5号 『みみのわ』 代表 中島 奈穂子	藤田 誠 相馬 純子	民生環境 (常)

地籍調査事業の進捗加速を求める請願

令和 8 年 5 月 28 日

青森市議会議長 奈良岡 隆 様

青森市大字入内字駒田 47 番地 3
中川 富子 外 2 名

紹介議員 大矢 保

(請願の趣旨)

地籍調査は、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、正確な境界の位置と面積を確定するものである。それにより、土地境界等のトラブルを未然に防ぎ、土地の資産価値を高め、災害発生時でも、土地境界の迅速な復旧復元に極めて役立つものであり、土地に関する最も基礎的かつ重要な調査であると言われている。しかし、全国的な進捗は思わしくない。

地籍調査は、昭和 26 年から行われ、既に 70 年以上を経過したにもかかわらず、令和 6 年度末時点における全国の進捗率は 53% と極めて低い実施状況である。その中であって青森県の実施状況は 93% と際立って高い。これは佐賀県、沖縄県に次ぐ全国 3 番目の高進捗率である。しかも、県内 40 市町村のうち、75% の 30 市町村で既に完了している。

しかし、県都青森市は、残念ながら県内市町村の中の最下位で 59% である。確かに対象面積が県内一広く、長い実施期間を要することは理解するとしても、市民一人一人の利便性を享受する権利は、地域に格差なくひとしくあるべきである。弘前市の 91%、八戸市の 77% に比べて、地籍調査への熱意が感じられない。また、青森市の地籍調査状況を見るにおいて、実施箇所が点在し、規則性が乏しく感じられ、調査実施方針に疑問が残る。早期に、市全体の実施計画を公表し、地図混乱地域の解消、所在地及び境界の明確化のために透明性をもった方針で推進すべきである。

ついては、青森市の地籍調査の進捗率を高めていただくことを望むものである。

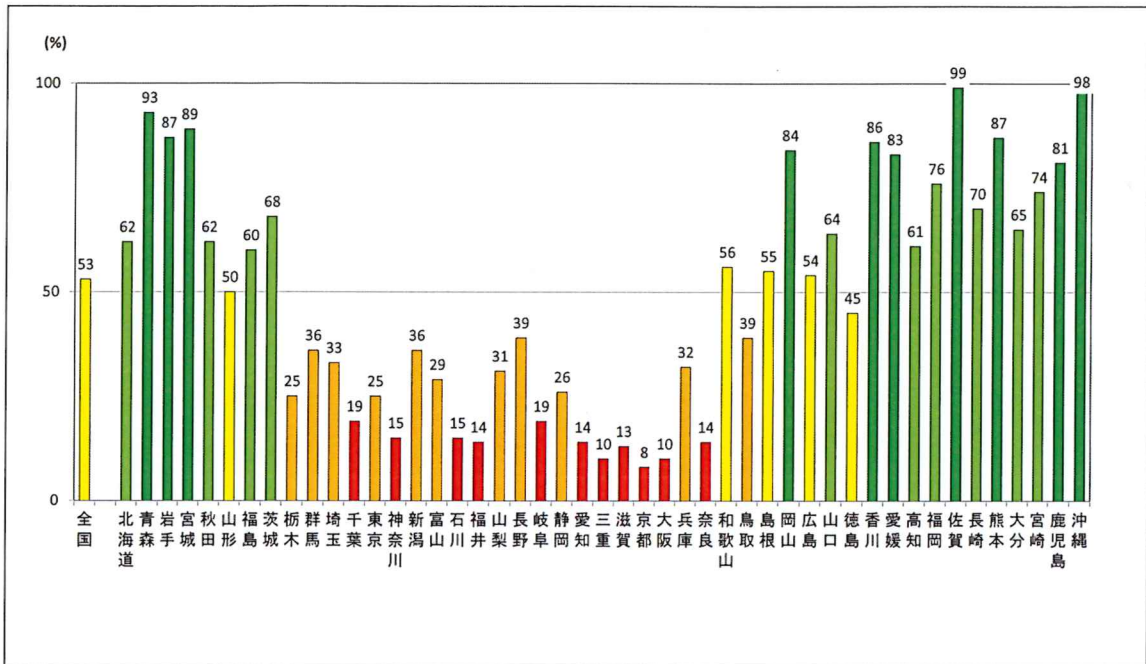
(請願事項)

本市の地籍調査事業の進捗を加速させること。

全国の地籍調査の実施状況

地籍調査進捗率(令和6年度末時点、令和7年6月調べ)

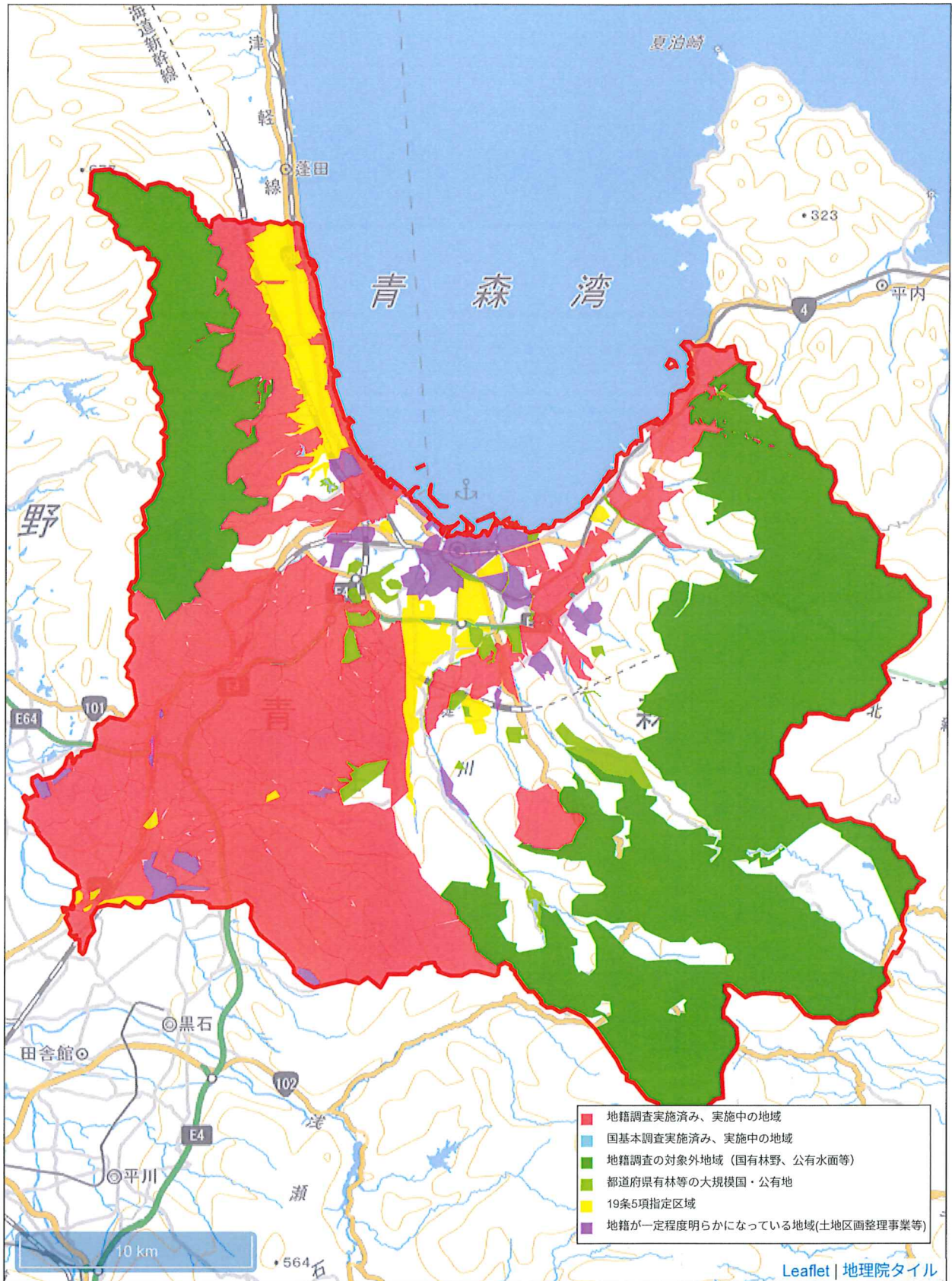
地域ごとの実施状況



地籍調査への着手の状況

着手類型	市町村数	割合(%)
完了	608	35
実施中	821	47
休止中	209	12
未着手	103	6
合計	1,741	-

地籍調査状況マップ 青森市



入内地区を地籍調査事業地の優先地とすることを求める請願

令和 8 年 5 月 28 日

青森市議会議長 奈良岡 隆 様

青森市大字入内字駒田 47 番地 3
中川 富子 外 2 名

紹介議員 大矢 保

(請願の趣旨)

地籍調査は、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、正確な境界の位置と面積を確定するものである。それにより、土地境界等のトラブルを未然に防ぎ、土地の資産価値を高め、災害発生時でも、土地境界の迅速な復旧復元に極めて役立つものであり、土地に関する最も基礎的かつ重要な調査であると言われている。

私たちの居住する入内地域は、本市南西端の山間に位置し、入内川沿いに寄せ合った寒村である。平坦地が少なく、集落に起伏が多いが、先祖伝来の山林・農地を今に守ってきた。しかし、近年、固定資産税の課税地や法務局備付けの旧土地台帳附属地図と現地を照合すると、土地の所在や境界に争いも起きかねない乖離があることが分かった。かつて、本家、分家で土地を分け合ったことが反映されていないように思われる。徐々に、昔を知り、昔を語り伝えるべき老人が減ることにより、昔の事が闇に消え去り、この土地問題が親しかった村民間に亀裂を生じさせ、骨肉の争いまで発展する懸念を抱くものである。これはぜひとも回避すべきことであり、早く土地問題を解消したいと考えている。

先般、青森市担当部署に入内地区の地籍調査の予定を聞いたところ、当面、計画がないことが分かった。

ついては、入内地区の調査実施を優先的に進めていただくことを望むものである。

(請願事項)

本市南西端にある入内地区を地籍調査事業地の優先地とすること。

フリースクール等利用料補助制度の創設を求める請願

令和8年5月29日

青森市議会議長 奈良岡 隆 様

青森県青森市桜川4丁目3-10
片野 澄哉

紹介議員 工藤 健
小豆畑 緑
山本 武朝
赤平 勇人
小熊 ひと美
里村 誠悦
山田 千里

(請願の趣旨)

青森市は、令和6年度から市内全ての小・中学校に校内教育支援センターを設置し、令和7年度からは県内初の不登校等特認校6校を指定するなど、不登校対策に積極的に取り組んでおり、その姿勢に深く敬意を表する。

しかしながら、青森市における不登校児童・生徒数は、令和6年度に減少に転じたものの528人となっており、また青森県の子どもの貧困率は、全国的にも高い水準にある。こうした現状において、学校外の学び場であるフリースクール等を利用したくても、月額1万5000円～3万円超の利用料が経済的負担となり、困窮家庭の子どもの選択肢から排除されてしまう。

東京都品川区では、フリースクール等利用料の補助制度(月額上限2万円)を整備し、学校外の学びへのアクセス格差を解消する先進的な取組を進めている。また、岩手県宮古市においても所得制限なしの全額補助を実施しており、東北地方でも先行事例が生まれている。

仮に月額2万円として60名の支援希望者に対する補助試算額は1440万円となり、青森市においても同様の制度を導入することは、財政的にも十分に可能であると考えます。

ついては、下記の事項について速やかに実現されるよう請願する。

(請願事項)

不登校の状態にある青森市立学校在籍の小・中学生の保護者に対し、他自治体における補助額も参考にしながら、不登校支援を主たる目的とするフリースクール等の利用料の一部を助成する制度を創設すること。

物価高騰やホルムズ海峡封鎖等の影響による中小業者の緊急事態の打開を求める請願
(その1)

令和8年6月1日

青森市議会議長 奈良岡 隆 様

青森市長島三丁目21番8号
青森民主商工会
会長 田附 衛

紹介議員 万徳 なお子

(請願の趣旨)

アメリカとイスラエルによるイラン攻撃を発端にしたホルムズ海峡封鎖による影響が急速に広がっている。「塗装用シンナーが80%値上がりした」「値上がりにとどまらず、必要な原料・資材が手に入らない」「売上げが前月比で半減」など中小業者の悲痛な声が寄せられていることから、全商連(全国商工団体連合会)が本年3月から4月にかけて影響調査を実施した。円安による物価高の影響に加え、イラン情勢の不透明さから事業に必要な仕入れ・資材の調達そのものが困難に直面している実態が浮き彫りになっている。

燃油・資材の価格高騰だけでなく供給不足を招いていることが、かつて多くの中小業者を倒産・廃業に追い込んだオイルショック時やコロナ禍とは異質で、深刻な影響を及ぼしている。

青森県においては昨年度、中小業者支援としてLPガスの使用量に応じた支援金の給付事業を実施しており、今年度も5月11日より5回目の給付事業を実施している。また、青森市でも過去に「令和7年度青森市賃上げ・物価高騰対策応援金」事業を実施(令和8年1月15日～3月16日)しており、事業継続の力強い下支えに貢献した実績がある。

個人の経営努力だけでは困難を打開できない事態に直面している。多くの中小企業・小規模事業者は不安を募らせながらも、資金繰りや雇用を維持する方策を必死で模索している。

こうした趣旨から、以下のことを請願する。

(請願事項)

政府に対し、コロナ禍に実施された「持続化給付金」「家賃支援給付金」「雇用調整助成金」のような支援策の実現や自治体が行う支援策への財政措置を行うよう要請すること。

物価高騰やホルムズ海峡封鎖等の影響による中小業者の緊急事態の打開を求める請願
(その2)

令和8年6月1日

青森市議会議長 奈良岡 隆 様

青森市長島三丁目21番8号
青森民主商工会
会長 田附 衛

紹介議員 万徳 なお子

(請願の趣旨)

アメリカとイスラエルによるイラン攻撃を発端にしたホルムズ海峡封鎖による影響が急速に広がっている。「塗装用シンナーが80%値上がりした」「値上がりにとどまらず、必要な原料・資材が手に入らない」「売上げが前月比で半減」など中小業者の悲痛な声が寄せられていることから、全商連(全国商工団体連合会)が本年3月から4月にかけて影響調査を実施した。円安による物価高の影響に加え、イラン情勢の不透明さから事業に必要な仕入れ・資材の調達そのものが困難に直面している実態が浮き彫りになっている。

燃油・資材の価格高騰だけでなく供給不足を招いていることが、かつて多くの中小業者を倒産・廃業に追い込んだオイルショック時やコロナ禍とは異質で、深刻な影響を及ぼしている。

青森県においては昨年度、中小業者支援としてLPガスの使用量に応じた支援金の給付事業を実施しており、今年度も5月11日より5回目の給付事業を実施している。また、青森市でも過去に「令和7年度青森市賃上げ・物価高騰対策応援金」事業を実施(令和8年1月15日～3月16日)しており、事業継続の力強い下支えに貢献した実績がある。

個人の経営努力だけでは困難を打開できない事態に直面している。多くの中小企業・小規模事業者は不安を募らせながらも、資金繰りや雇用を維持する方策を必死で模索している。

こうした趣旨から、以下のことを請願する。

(請願事項)

地方税や国民健康保険税の納付の猶予・免除する特例制度を実施すること。

18 歳以上の軽度・中等度難聴者への補聴器購入費助成制度創設を求める請願

令和 8 年 6 月 1 日

青森市議会議長 奈良岡 隆 様

青森市篠田 2 丁目 13 番 5 号

『みみのわ』

代表 中島 奈穂子

紹介議員 藤田 誠

相馬 純子

(請願の趣旨)

現在、青森市では、0 歳から 18 歳までの身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度難聴児に対し、青森市軽度中等度難聴児補聴器購入費等助成事業が実施されている。この事業は、難聴児にとって言語習得やコミュニケーション能力の形成、学習環境の確保などに大きな役割を果たしており、成長過程において重要な支援となっている。

しかし、18 歳を超えると同事業による支援は終了し、補聴器購入費用は原則自己負担となる。一方で、軽度・中等度難聴者は、進学、就労、子育て、社会参加など様々な場面で困難を抱えていても、身体障害者手帳の交付対象外となることが多く、公的支援を受けられない現状がある。

補聴器は単なる医療機器ではなく、聞こえを補うことで周囲とのコミュニケーションを可能にし、安心して学び、働き、人とつながりながら生活していくために必要不可欠な支援機器である。しかし、補聴器は両耳分で数十万円に及ぶ場合もあり、さらに数年ごとの更新が必要となることから、継続的な経済負担が大きな課題となっている。

現在、全国では 18 歳以上の軽度・中等度難聴者を対象とした補聴器購入費助成制度を導入する自治体が徐々に広がっている。青森市においても、令和 8 年 7 月から 65 歳以上の軽度・中等度難聴者を対象とした補聴器購入費助成制度の開始が予定されている。高齢者への補聴器購入費助成は、認知症予防の観点からも大変重要である。

また、近年の研究では、特に 45 歳から 64 歳の中年期の難聴が、将来的な認知症リスクと関連することも指摘されている。最新のランセット認知症予防・介入・ケア国際委員会の報告(2024 年)では、中年期の難聴は認知症の主要な予防可能リスクの一つとされている。

そして、補聴器の使用は、コミュニケーション支援や社会参加の促進につながる可能性が示されており、就労継続や地域社会への参加にも寄与することが期待されている。

青森市の 18~64 歳人口は約 13 万 5000 人であり、一般的な推計ではその約 10%に当たる約 1 万 3500 人が軽度・中等度難聴に該当すると考えられる。そのうち補聴器装用率を約 15%と仮定し、さらに補聴器の更新期間を 5 年程度として試算した場合、年間利用者は約 400 人程度、1 人当たり 3 万円の助成を行った場合の年間予算は約 1200 万円程度と見込まれる。

一方で、難聴対策や補聴器購入支援は、認知症予防や将来的な医療・介護費抑制にもつながる可能性がある。研究結果を参考にした試算では、補聴器介入による認知機能低下抑制効果により、将来的に年間数億円規模の社会的費用抑制効果が期待される可能性も示されている。

今回の活動を通じて、難聴当事者や家族から、「18 歳を超えた途端に補聴器購入が全額自己負担となり不安を感じている」「数デシベルの差で身体障害者手帳の交付対象外となり必要な支援

を受けられない」「補聴器はぜいたく品ではなく、日常生活や社会参加のために必要不可欠な支援機器である」といった切実な声が多数寄せられた。また、本活動には 100 名を超える賛同署名が寄せられており、本請願には、その署名簿を添付している。

年齢や身体障害者手帳の有無によって支援が途切れることのない、切れ目のない支援体制の整備が必要であると考えます。

以上の趣旨から、下記の事項について請願する。

(請願事項)

青森市において、18 歳以上の軽度・中等度難聴者（身体障害者手帳の交付対象外）を対象とした補聴器購入費助成制度を創設すること。

『みみのわ』です

18歳以上の軽度・中等度難聴者への補聴器購入費用助成を求める活動をしています。

2026年6月、青森市議会へ声を届けるため請願書を提出する予定です。

その際に添付する署名を集めています。

ご賛同いただける方は、ぜひ署名にご協力をお願いいたします。

【署名】18歳以上の軽・中等度難聴者への 補聴器助成を求めます（青森市）

ご氏名	お住まい 記入例…青森市本泉 (市町村・町名までご記入ください。番地の記入は不要です)
工藤文紀	青森市本泉
中谷磨佐子	青森市矢田前
秋元 幸	青森市柳川
川村千鶴	青森市筒井
成田明子	青森市柏
石田最子	青森市小柳
工藤俊幸	青森市自由ヶ丘
浅利義弘	青森市富田
西田理恵	青森市筒井

『みみのわ』です

18歳以上の軽度・中等度難聴者への補聴器購入費用助成を求める活動をしています。

2026年6月、青森市議会へ声を届けるため請願書を提出する予定です。

その際に添付する署名を集めています。

ご賛同いただける方は、ぜひ署名にご協力をお願いいたします。

【署名】18歳以上の軽・中等度難聴者への 補聴器助成を求めます（青森市）

ご氏名	お住まい 記入例…青森市本泉 (市町村・町名までご記入ください。番地の記入は不要です)
奥口 令子	青森市久須志

『みみのわ』です

18歳以上の軽度・中等度難聴者への補聴器購入費用助成を求める活動をしています。

2026年6月、青森市議会へ声を届けるため請願書を提出する予定です。

その際に添付する署名を集めています。

ご賛同いただける方は、ぜひ署名にご協力をお願いいたします。

【署名】18歳以上の軽・中等度難聴者への 補聴器助成を求めます（青森市）

ご氏名	お住まい 記入例…青森市本泉 (市町村・町名までご記入ください。番地の記入は不要です)
中村文子	青森市三内
鎌田直之	青森市青葉1丁目
三浦忠雄	弘前市福村
三浦浩子	弘前市福村
工藤則男	弘前市城東中央5丁目
柳魚隆治	弘前市城下

『みみのわ』です

18歳以上の軽度・中等度難聴者への補聴器購入費用助成を求める活動をしています。

2026年6月、青森市議会へ声を届けるため請願書を提出する予定です。

その際に添付する署名を集めています。

ご賛同いただける方は、ぜひ署名にご協力をお願いいたします。

【署名】18歳以上の軽・中等度難聴者への 補聴器助成を求めます（青森市）

ご氏名	お住まい 記入例…青森市本泉 (市町村・町名までご記入ください。番地の記入は不要です)
山田順子	青森市やま4丁目
佐藤芳子	黒石市柵ノ木2-5-3
平田はるみ	青森市奥野
安宅沙織	青森市西造道
佐藤結香	青森市北金沢
渡辺淑子	青森市大野

『みみのわ』です

18歳以上の軽度・中等度難聴者への補聴器購入費用助成を求める活動をしています。

2026年6月、青森市議会へ声を届けるため請願書を提出する予定です。

その際に添付する署名を集めています。

ご賛同いただける方は、ぜひ署名にご協力をお願いいたします。

【署名】18歳以上の軽・中等度難聴者への 補聴器助成を求めます（青森市）

ご氏名	お住まい 記入例…青森市本泉 (市町村・町名までご記入ください。番地の記入は不要です)
安宅 剛	青森市岡造道
安宅 信夫	青森市岡造道
安宅 洋	青森市岡造道
安宅 豪	青森市岡造道

**【署名】 18 歳以上の軽・中等度難聴者への
補聴器助成を求めます（青森市）**

ご氏名	お 住 ま い 記入例…青森市本泉 (市町村・町名までご記入ください。番地の記入は不要です)
沢尻政司	青森県上北郡七戸町

【紙の署名も受け付けています】

青森市へ

18歳以上の軽・中等度難聴者への補聴器購入費用の助成を
求める署名

この署名は、青森市へ

『18歳以上の軽・中等度難聴者への補聴器購入費用の助成を』

という声を届けるためのものです。

オンライン署名に加えて、紙の署名でもご協力いただけます。

集まった署名は、青森市へ正式に提出します。

■ 署名欄（ご協力お願いします）

No.	氏名（自署）	住所	電話番号
1	櫻庭 香織	弘前市川先3-3-14	080-3148-1004
2	櫻庭 いちろ	〃	〃
3	木庭 ちひろ	〃	〃
4	櫻庭 和樹	〃	〃
5			
6			
7			

※ ご記入いただいた個人情報は、本署名の目的以外には使用しません。

氏名	お住まい（市町）	青森市議会・行政へ伝えたいメッセージ（任意）
櫛引 和子	青森市久栗坂	
内海隆	青森市篠田	
野村麻季	青森市小柳	
若松秀樹	むつ市桜木町	支援の輪が少しでも広がるよう宜しくお願いします。
最上喜代	青森市堤町	
佐々木知子	弘前市小比内	
佐々木 守	青森市橋本	
蛸名 仁	東北町	
木村 佳子	黒石市緑町	私も50歳くらいから聴力が落ち、苦勞しています。補聴器は必須ですが、コストがかかりすぎ、大変困ります。助成があるととても助かります。
立石 孝一	青森市富田	
山内美穂子	青森市西大野	普通の生活をするのに、特別に費用をかけなければならない。しかも一生続く。これは理不尽に思います。然るべき検査結果があるのならば不便を減らすために、皆と同じ暮らしをするために補助をすべき、と思います。
高崎明美	黒石市野際2丁目	
佐藤美咲	八戸市売市	

署名サイトchange.org内での署名 (91筆)

氏名	居住地 (市区町村)	郵便番号	国	賛同日付
中島 奈穂子	青森市	038-0011	日本	2026/1/22
山内 由衣	青森市	038-0013	日本	2026/1/22
伊藤 梨恵	Aomori	038-0024	日本	2026/1/22
中島 典之	青森市	038-0011	日本	2026/1/22
菱谷 裕香	大鰐町	038-0212	日本	2026/1/23
渡邊 可子	Aomori	038-0021	日本	2026/1/23
池上 和博	Hashimoto	648-0061	日本	2026/1/23
Hattori yumiko	東京都	168-0065	日本	2026/1/23
Kimura Eriko	千葉		日本	2026/1/23
タカハシ クミコ	旭川市	078-8343	日本	2026/1/23
佐野 江麻	札幌市中央区	064-0920	日本	2026/1/23
源野 寛幸	福井市	910-0063	日本	2026/1/23
清水 和彦	千葉県	270-0163	日本	2026/1/23
砂金 ヴェヌス	Sendai	989-3201	日本	2026/1/23
鎌田 祐子	青森市浪岡	038-1325	日本	2026/1/24
阿部 貴	山形		日本	2026/1/24
馬場 昭	兵庫県尼崎市	660-0801	日本	2026/1/24
永井 克寿	Aomori	038-0041	日本	2026/1/24
鈴木 里香	青森市	030-0851	日本	2026/1/24
篠原 恵理	群馬県	379-2154	日本	2026/1/24
横浜 静香	Aomori	030-0831	日本	2026/1/24
佐々木 信与	青森市	030-0861	日本	2026/1/24
渡部 圭三	埼玉県さいたま市	337-0015	日本	2026/1/25
白崎 恵里香	Aomori	038-0021	日本	2026/1/25
岩尾 至和	福岡市博多区	812-0895	日本	2026/1/25
寺崎 光希	Kurume	839-0852	日本	2026/1/25
梶原 由理	MinamishÅ	814-0031	日本	2026/1/25
山口 みわ子	川崎市川崎区港町	210-0807	日本	2026/1/25
本田 久美	福岡県北九州市戸畑区	804-0065	日本	2026/1/25
山口 純弘	川崎市	210-0807	日本	2026/1/25
守屋 裕介	AraichÅ	240-0051	日本	2026/1/25
相澤 優希	MinamishÅ	814-0031	日本	2026/1/25
菱谷 拓海	青森県南津軽郡大鰐町蔵館	038-0212	日本	2026/1/25
工藤 葉子	福岡市	819-0367	日本	2026/1/25
小松 叙子	Kurume	830-0041	日本	2026/1/25
岡田 大樹	京都府宇治市	611-0002	日本	2026/1/25
ナカマ ヨウコ	Sakai	592-8335	日本	2026/1/25
毛利 清香	大阪	592-8349	日本	2026/1/25

KATO Yuji			日本	2026/1/25
秋田 陽子		030-0851	日本	2026/1/25
岡田 雅宏	名古屋市	454-0012	日本	2026/1/26
大平 麻奈美	大阪市旭区太子橋	535-0001	日本	2026/1/26
昆 優美		950-3111	日本	2026/1/26
松木 裕二	Yokohama	231-0841	日本	2026/1/26
毛利 祐二	千葉市	262-0033	日本	2026/1/26
荒牧 恵美	Fukuoka	812-0031	日本	2026/1/26
樋口 雅子	Kashiwa	277-0845	日本	2026/1/27
田村 充	Sapporo	062-0934	日本	2026/1/27
伊藤 玲子	Hachioji	192-0904	日本	2026/1/27
K Y	Tokyo	100-0002	日本	2026/1/27
山田 果林	名古屋市	466-0046	日本	2026/1/27
八代 壇	Aomori-shi	030-0811	日本	2026/1/27
酒井 夏帆	Muromi	814-0011	日本	2026/1/27
荒牧 秀吾	古賀市	811-3125	日本	2026/1/27
佐藤 愛	福岡市	814-0133	日本	2026/1/27
田中 美奈	大野城市	816-0941	日本	2026/1/27
新里 俊幸	福山市沼隈町	720-0312	日本	2026/1/27
吉田 寿美子	宮城県宮城郡利府町	981-0123	日本	2026/1/27
外崎 愛	五所川原市	037-0094	日本	2026/1/27
岡本 綾子	Aomori	038-0021	日本	2026/1/27
古舘 歩美	Hachinohe	031-0001	日本	2026/1/27
山本 可奈	青森市矢田前弥生田	030-0936	日本	2026/1/27
山本 春香	埼玉県志木市	353-0007	日本	2026/1/28
稲葉 明	糟屋郡新宮町緑が浜	811-0119	日本	2026/1/28
山口 はるな	HÅrai	331-0071	日本	2026/1/29
大平 良龍	大阪	535-0001	日本	2026/1/30
栗山 綾子	Aomori	038-0021	日本	2026/1/30
三上 菜摘	青森市	038-0042	日本	2026/2/2
津田 梢	府中市	183-0006	日本	2026/2/4
大久保 綾	福岡市西区吉武	819-0036	日本	2026/2/4
秋田 翔	藤崎町	038-3802	日本	2026/2/4
丸本 香央里	青森市	038-0042	日本	2026/2/7
太田 えりか	Aomori	038-0004	日本	2026/2/7
小川 亜子	青森市	038-0024	日本	2026/2/7
T K	埼玉県飯能市	357-0000	日本	2026/2/8
羽賀 優	Goshogawara	037-0021	日本	2026/2/11
鈴木 裕大	Aomori	030-0851	日本	2026/2/15
相馬 純子	青森市赤坂	030 0956	日本	2026/2/17

阿美 智美	Atsugi	243-0121	日本	2026/2/18
八木橋 美之	Aomori	030-0943	日本	2026/3/1
工藤 文紀	青森市	030-0937	日本	2026/3/1
越田 朗生	青森県	038-0013	日本	2026/3/4
千葉 彩乃	青森市	038-0003	日本	2026/3/8
下田 圭介	Aomori	030-0801	日本	2026/3/9
角田 貴子	Hirosaki	036-8171	日本	2026/3/15
今 せいこ	Aomori	030-0851	日本	2026/3/16
江戸 ひろみ	Hirosaki	036-1311	日本	2026/3/28
長谷川 容子	Saiwainishi	950-0901	日本	2026/3/31
山崎 景子	弘前市	368-171	日本	2026/4/2
倉田 もと子	Nishiochiai	161-0031	日本	2026/4/4
佐々木 由香	Ichinazaka	981-3111	日本	2026/4/5